

水産総合研究センターによる水産物ストロンチウム調査結果(第2報)

水産物等に含まれる放射性ストロンチウム等について、水産庁の要請により(独)水産総合研究センターが試料の選定および灰化の前処理を行った後、(財)日本分析センターに測定を依頼した調査結果を公表します。本調査の対象となった魚種は、骨ごと食べる習慣のあるもの、底魚(海底土からストロンチウムが検出されたため)、過去に放射性セシウムが検出されたもの、ストロンチウムの測定に十分な量が確保されているもの、という条件から選定しました。

なお、文部科学省「環境放射線データベース」による2000年から東京電力福島原子力発電所事故発生以前の2010年までの我が国周辺海域の魚類中のストロンチウム90の濃度は、検出下限値以下～0.094 Bq/kgの範囲でした。

NO.	魚種等	採集地点	採取日	公表日	検査結果(単位:ベクレル/kg)				備考
					ストロンチウム-89	ストロンチウム-90	セシウム	ヨウ素131	
5	ゴマサバ	35° 45' N 141° 18' E	7月1日	8月30日	検出限界未満 (検出下限値:)	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	4.5	検出下限値未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
4	マイワシ	36° 03' N 140° 47' E	6月22日	8月30日	検出限界未満 (検出下限値:)	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	19.2	検出下限値未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
3	カタクチイワシ	35° 21' N 140° 30' E	5月26日	8月30日	検出限界未満 (検出下限値:)	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	17.2	検出下限値未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
2	アカガレイ	36° 28' N 141° 00' E	4月22日	8月30日	検出限界未満 (検出下限値:)	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	3.3	検出下限値未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
1	マダラ	37° 38' N 141° 33' E	4月21日	8月30日	検出限界未満 (検出下限値:)	0.03 (検出下限値:0.03)	34	検出下限値未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉